

三重県東日本大震災支援本部 第18回本部員会議 概要

- 1 開催日時：平成26年12月24日（水）9:35～10:05
- 2 開催場所：県庁3階プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●説明、☆意見）

1 平成26年度の各部局の取組について

- 防災対策総務課長 資料1により説明

2 現地派遣職員による活動報告について

(1) 「東日本大震災の復旧・復興支援にかかる埋蔵文化財調査について」

- 教育委員会事務局埋蔵文化財センター 渡辺和仁 技師 資料2により説明

(1) 「農地等災害復旧復興事業に携わって」

- 企業庁財務管理課 伊藤正幸 課長補佐兼班長 資料3により説明

☆危機管理統括監

伊藤補佐は、どんな状況で生活をしていたのか？

- 企業庁財務管理課 伊藤正幸 課長補佐兼班長

6軒長屋の仮設住宅で生活をしていた。同じ事務所の派遣職員が入居しており、何かある場合は声を掛け合っていたので、心強かった。冬は寒く、1年目は何も分からなかったが、2年目は1年目の派遣職員に冬の状況等について助言をすることもできた。

☆知事

・（派遣職員の報告を聞いて）応援を受ける側としてどういう準備をしなければいけないのか、どのように業務を進めてもらわないといけないのかという、受援の難しさをあらためて感じたので、我々も大規模災害に備えて受援をどうしていくのか考えさせられた。派遣職員にとっても良い経験になったと思うので、今後の業務に活かしてほしい。

・県内には、約460名の避難者がいらっしゃることを常に意識し、引き続き必要な情報が確実に届くようにしていくこと。

・派遣職員が心身の健康を保ち、存分に復旧・復興業務に打ち込めるよう、それがまた被災地のためにもなるので、連絡を密に取る等、側面からのサポートを十分にしていくこと。

・震災の記憶を風化させることのないよう、タイミングに合わせて民間団体等とも連携し、支援・交流にしっかりと取り組んでいくこと。